

客観指標評価の段階基準

全指標を統一的な基準で評価できるよう、5段階区分の基準を指標の性質に応じて下記のように設定した。

① 目標達成度

- A：目標値以上の達成
- B：目標値どおり
- C：目標値未満であるが改善
- D：前年と同水準
- E：前年よりも悪化

② 政令指定都市内順位

- A：1 位ないし 2 位
- B：3 位～5 位程度
- C：6 位～8 位程度
- D：9 位～11 位程度
- E：最下位

③ 全国対比

- A：全国的な傾向と比較して非常に良好なもの
- B：全国的な傾向と比較して良好なもの
- C：全国的な傾向と同程度のもの
- D：全国的な傾向よりやや悪いもの
- E：全国的な傾向より悪いもの

④ 前年対比

- A：過去最大の改善をしているもの
- B：過去最大ではないが改善しているもの
- C：前年度同程度の水準のもの
- D：過去最大ではないが悪化をしているもの
- E：過去最大の悪化をしているもの